



ガイパッテマス

「住民と共に歩む保健師活動を 目指して」

知 夫村は、島根半島沖合の日本海に浮かぶ隠岐諸島最南端の本土に最も近い島にあります。観光名所は、朝の連続テレビ小説「だんだん」のロケ地としても有名な「赤壁」をはじめ、遠く島根半島から島前、島後の島々の大パノラマを一望できる「赤ハゲ山」があり、その風景は訪れる人を魅了しています。

知夫村の総人口は596人、高齢化率は49%（平成28年4月1日現在）と少子高齢化が



知夫村 村民福祉課
保健師

ふじた みはる
藤田 美春

進んでいます。医療、介護においても離島ならではの課題を抱えています。小さな村であるがゆえの横のつながりの強さを生かし、切れ目のないサービスの提供に努めています。村唯一の診療所、歯科診療所、そして居宅支援サービス事業所や村民福祉課等が常に報告、連絡、相談をしい、早期発見、早期治療、介護予防と早めの対応を心がけています。また、住民と保健師も顔の見える関係であり、道端で相談を受けることもあり。私は、住民と道端で出会った際などのちょっとした会話や、声かけを大切にしたいと考えています。そこから、住民のニーズや思いを知ることができ、また教えていただくことも多いと感じています。

今

後、多くの人との出会いを大切に、また常に学ぶ姿勢を忘れずに保健師として成長していきたいです。島を一つの家族と考え、住民の皆様と共に、楽しく保健活動を展開していきたいと思っています。

まだまだ知識、経験は未熟ですが、住民の皆さんに、「あの人に相談すれば何とかなるだろう」、「あの人の悩みを聞いてもらいたい」と思っていただけよう、日々努力していきたいと思っています。

私

知夫村は住民同士が、野菜や魚を分け合ったり、お互いに診療所の受診日を把握しているなど、人々のつながりが強い地域です。私も、徐々に住民の顔と名前を覚え、また保健師として知っていたできるようになりました。保健師として一住民として充実した日々を過ごしています。このように、顔の見える関係で保健活動ができることは、とても素敵な事だと感じています。

は、知夫村で保健師として採用され、2年目になりました。1年目を振り返ると、日々の業務をこなすことで精いっぱいの日でしたが、職場の皆さんの支援に加え、住民の方々からの温かい声かけや笑顔に励まされ本当に感謝しています。今年度は、成人保健、歯科保健、精神保健に加え、母子保健も担当することになりました。お母さん方の不安に寄り添い、また子育ての楽しさ、喜びと一緒に感じていきたいと思っています。